

令和5年度 第3回 とみやわくわくミーティング  
「とみやわくわく子どもミーティング」  
実施報告書



富谷市公式キャラクター  
ブルバリッ娘とブルピヨ

富谷市総務部市民協働課

## ○事業概要

テ ー マ	子どもにやさしいまちづくりについて ～私たちがつくる とみやの未来～	
日 時	令和5年11月20日（月）午後3時00分～午後5時00分	
場 所	富谷市役所 市民交流ホール	
座 長	富谷市長 若生 裕俊	
参 加 者	一般参加	14名（市内小学校8校の5・6年生）
	富谷市	10名（市長、副市長、教育長、子育て支援課2名、市民協働課5名）
	傍聴者等	9名
内 容	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. ミーティング 4. 市長感想 5. 閉会	



## 市長挨拶

皆さんこんにちは。とみやわくわく子どもミーティングに各小学校を代表する皆さんのご参加をいただきありがとうございます。今日は11月20日ですが、何の日か分かる人はいますか。11月20日は、世界子どもの日でございます。世界子どもの日は1954年、国連で人種や国籍を問わずに、次代を担う子どもたちをみんなでしっかり育てることを目指し制定されました。1989年11月20日には子どもの権利条約が採択され、11月20日を国際デーとして世界のすべての国でこの日をみんなで考えましょうという日となりました。

富谷市におきましては、これまでも「子どもにやさしいまちづくり」として、子育て・教育に力を入れて参りました。具体的には、平成30年に子どもにやさしいまちづくり宣言を行い、日本ユニセフから日本で最初に子どもにやさしいまちづくり実践自治体として承認をいただいた5つの自治体のうちのひとつとして、担当の課だけではなく全ての課で子育て、教育、そして何よりも子どもの権利、皆さんの声をしっかりと市政に反映させるよう取り組んでおります。毎年、一年間の各課の取組について報告や検証も行い、全庁を挙げて子どもにやさしいまちづくりに取り組んでいるところです。

そして、このわくわく子どもミーティングは、毎年11月20日の世界子どもの日に合わせて開催してまいりました。これまでは、各小学校を代表する皆さんから、直接私に要望や思っていることをお話いただいていたのですが、昨年参加した方々から、せっかく市内8校から代表の皆さんが集まるので、同じ小学生同士で意見交換ができる機会があったらいいなという話をいただき、今年はこれまでとは形態を変え、3つのグループに分かれてそれぞれのグループで意見を出し合い、そしてまたグループワーク内で出た意見を深掘りする形で進めていきます。このような開催形態は初めてなので、もしかしたら少しつまずいたりすることがあるかもしれませんが、主役は皆さんですので、みんなでこのわくわくミーティングを一緒に作り上げていきたいと思っております。

さらに、今日は皆さんの先輩方でもあります富谷高校生3人に、それぞれのグループでアドバイスをいただき、進行のご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今日は皆さん、忌憚のないご意見をいただければと思っておりますし、いただいたご意見はすぐやれることはすぐやりますし、時間がかかるかなという部分はこういったことで時間がかかりますとしっかりと説明しながら、皆さんの声を市政に反映できるように頑張っていきますので、今日はどうぞよろしくお願いいたします。



## 〇ミーティング

「あなたが描く富谷の未来はどんな未来？その実現のために自分ができること、市ができること」

意見交換①…自分が考えてきた意見をグループ内で発表し合い、出された意見をテーマ別に分ける作業を行いました

### ①グループ

#### ● 観光・交通

- ・魅力的なお土産があるまち

【市ができること】はちみつ、ブルーベリーなどを使ったお土産を作る

- ・たくさんの方が泊まれる宿があるまち
- ・修学旅行生が体験活動できる施設があるまち
- ・交通整備が行き届いているまち

【自分ができること】バスや電車を多く利用し、交通の大事さを訴える

【市ができること】地下鉄が通るようにしたり、バスの運行回数を増やす

- ・売店、レストラン、プールなどが入った複合屋内施設があるまち

【自分ができること】募金など



#### ● 公園

- ・全世代が楽しく遊べるような、外が雨でも遊べる屋内公園があるまち
- ・ゴミの落ちていないまち

【自分ができること】公園など公共施設のゴミを拾う

#### ● 住みやすいまち

- ・障がい者でも幸せに生活できるまち

【自分ができること】差別をなくす、障がいについて知ってもらう

- ・元々ある公園を高齢者も楽しめる遊具を作ったり、ユニバーサルデザイン化する

【自分ができること】募金など



## ②グループ

### ● コミュニケーション

- ・ テーマパークのあるまち

(テーマパークの近くに住む人が多くなり、富谷の人口も増える)

- ・ 違う学校の子どもともたくさん話せる未来

【自分ができること】募金、あったらいい遊具のアンケートを各学校で行う

【市ができること】お店に募金を設置、屋内施設を建てる



### ● 安心・安全

- ・ 安心、安全なまち

【自分ができること】怪我をしないように気を付け、危ない行動をしない

【市ができること】安全点検をする

- ・ ベビーカーの借りやすい環境のある未来

### ● インフラ

- ・ 道の駅があるまち

(外国人観光客が増える、特産品を使ってイベント)

- ・ 雨でも利用できる遊び場があるまち

(老人や子どもたち向けのイベントを開催)

【自分や市ができること】募金活動

- ・ 交通機関が充実したまち

- ・ 皆が楽しめる公園があるまち

- ・ 大きな図書館があるまち



### ③グループ

#### ● 子ども

- ・人々のつながりが生まれるまち

(インターネットの普及などで、人と人とのつながりが薄れてきてしまっている)

【自分ができること】 富谷市の全学校であいさつ運動を行う

【市ができること】 公民館などの公共施設でイベントを開く

- ・子どもが自由に遊べる場所がたくさんあるまち

【自分ができること】 こういった活動に参加してリクエストする

【市ができること】 このような場所を作る

- ・子どもがのびのびと学べるまち

- ・大きな図書館や静かな学習スペースで子どもがのびのびと学べるまち

【自分ができること】 もし図書館や学習スペースができたなら、そこを利用し学習する

【市ができること】 図書館や学習スペースをつくる



#### ● 環境

- ・環境にやさしいまち

【自分ができること】 食品ロスを減らす、環境に悪いことをしない

【市ができること】 排気ガスを出さないバスを走らせる

#### ● 交流

- ・年齢関係なく互いに支え合い共存できるまち

子ども→気遣う心が生まれ、優しい子が増える

高齢者が身近な存在になる

高齢者→話し相手ができる

昔話、昔の遊びを伝えることができる

【自分ができること】 登下校の際にすれ違った人たちに積極的に挨拶をする、人と話すことへの抵抗感を減らす

【市ができること】 公共の場をつくる、授業の一環として高齢者と接し合うことのできる機会を設ける

- ・高齢者にやさしいまち

【自分ができること】 地域に伝える、発信する

【市ができること】 高齢者にやさしいまちにするためのプロジェクトを行う

意見交換②…グループ内でテーマを一つにしぼり、そのテーマに沿ってさらに意見を出し合いました

## ①グループ

### テーマ：観光・交通

＊ ＊グループ内で出た意見＊ ＊

- ・たくさんの人が泊まれる宿
- ・体験活動ができる施設

【実現させるために必要なこと】成田の複合施設の一部に体験活動ができる施設を作って、その付近にホテルをよぶ

- ・旅行者の多くが富谷に来る未来

【実現させるために必要なこと】楽しいイベントを開く

県外から富谷に来れるよう交通網を整備する  
富谷としての大きな魅力をつくる

- ・レストランや売店、ボードゲームなどができる場所を作り、そこでブルーベリーやはちみつなどの特産品を売る

- ・バスがあったら移動しやすい

【実現させるために必要なこと】道が狭くてバスが通れないから、道幅を広くする

- ・まちが綺麗だったり安全だったら富谷に観光などで来る人が多くなると思う
- ・はちみつやブルーベリー、お米などのお土産屋さんがあったらいい（富谷には田んぼがたくさんあるのもったいないと思う）
- ・売店などで特産品を販売する
- ・スイーツのイベントを開催する

＊ ＊①グループまとめ＊ ＊

僕たちのグループでは、テーマを観光・交通に絞りました。そして、観光客が増えてにぎわう未来、市民が移動しやすくなる未来を描きました。そのために行政ができることは、宿やホテルを増やすこと、特産品を宣伝すること、特産品や音楽などのイベントを開催すること、交通手段を増やすことです。その他に、私たちができることは、募金などをして、今、農家の方が減りつつあるのでブルーベリーなどの特産品の業界を支援することです。

市長

観光客を増やすには、交通の利便性を高めなければいけない。そのことによって、にぎわう富谷市の未来、そして市民が移動しやすい、利便性の高まる未来を、というお話でした。特に行政に望むものということで、宿やホテルをまずは作ってほしい。あとは特産品。そして交通手段をしっかりと整

備して欲しい。イベントなども開催してほしい、観光の方にもう少し力を入れて欲しいというご意見だと思います。ご意見いただいたように、富谷市が一番弱いのは観光です。富谷の場合は観光資源に恵まれていなくて、歴史的なものもなかなかなく、あとは海にも接していない、大きな川もない、山もないということで、観光資源に恵まれてないというのは弱点でもあります。

行政自治体評価ランキングで、行政サービスや親しみやすさ、防災、安心安全等の8つの評価項目の中で唯一100位以内に入っていないのが、観光です。そういう意味では、富谷の弱いところが観光であるので、そこをしっかりと見据えての意見でした。そして、それを実現するためには、自分たちができることは募金活動ということで富谷の特産品であるブルーベリーが今、高齢化が進んで大変なので、そういう人たちを支援するためにということで、具体的なご意見をいただきました。今日の意見そのものが、私たちや特産品のブルーベリーを作ってる方々にとっても、すごく励みになるかと思っておりますのでしっかりと今日いただいたご意見は伝えさせていただきますし、我々も弱い弱いと言っているだけでもだめなので、観光にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。400年前宿場町だった面影はまだ残っています。おかげさまでとみやど、1年間で10万人の目標でスタートしたのが、約2倍の20万人ペースで、先日2年目で40万人達成したところでございます。ただ、とみやどだけではまだまだ不足しているので、旧宿場町をもう少し整備するなど、あらゆる手法を取り、先ほどいただいた意見も含めて、交通の利便性向上も含めしっかりと整備するように努力していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。





## ②グループ

### テーマ：コミュニケーション

＊ ＊グループ内で出た意見＊ ＊

- ・市公式ホームページで情報発信することでイベントの信頼度アップ
- ・SNS と連携させたスタンプラリーイベントの開催
- ・公共施設を増やす
- ・年代、国籍関係なく楽しめるイベントの開催
- ・スタンプラリー×施設巡り
- ・定期的に内容が変わるイベントを企画し SNS などで拡散する
- ・小中学生がイベントを企画する

＊ ＊②グループまとめ＊ ＊

私たちが考えたのは、スタンプラリー施設めぐりというものです。理由は、年代や国籍関係なく交流を深めたいと思ったからです。

小中学生がイベントを企画するので小中学生間の交流も深まります。イベントの内容もたびたび変えて、ポスターを作り、それを SNS などに掲載します。公式ホームページに限定してスタンプラリーの場所を掲載すれば公式ホームページを見てくれる人も増えます。行政にしてほしいことは公共施設を増やすことです。

市長

スタンプラリー施設めぐりということでそれぞれ意見をいただきました。具体的な手法や行政に対しての要望もいただきました。スタンプラリーの目指すところは、世代を超えて交流する機会をスタンプラリーを通して作れたらよいのではないかといいものでした。具体的にそういったイベント等も SNS で発信したり、それを公式ホームページで、その施設の場所を掲載したりすることによって、富谷市の公式ホームページを見るきっかけにもなるというのはすごく貴重な素晴らしいアイデアだと思いました。最後に施設めぐりをするためには、たくさん公共施設を作ってくださいということで要望をいただきました。そういうスタンプラリーができる施設をこれからも今日の意見も踏まえて作っていきたいと思います。ただ、どうしても施設はお金がたくさんかかるので、一気に作れないのですが、小さい施設も含めて段階的に整備に取り組んでいきたいと思います。こんな施設を作って欲しいというのがあったら、また追加で意見を出していただければと思います。今日いただいた意見、グループごとにいただいている意見を含め、個人からもそれぞれいただいた意見もしっかりと検討させていただきますので、ありがとうございます。

### ③グループ

## テーマ：交流

＊ ＊グループ内で出た意見＊ ＊

- 伝える
  - ・昔遊びを伝える
  - ・子どもと高齢者が交流するまち
    - 【自分ができること】 高齢者にスマホやタブレット端末の使い方を教え、自分たちは昔遊びを教えてもらう
    - 【市ができること】 どんな人とも交流できるイベントを開催する（スポーツイベント、ワークショップなど）
- 知る
  - ・障がいのある人とも交流できるまち
    - 【自分たちができること】 障がいのある人のことなどを知り、支える
    - 【市ができること】 障がいのある人への理解が深まるような体験イベントなどを開く
- 接する
  - ・年齢関係なく交流できる機会がたくさんあるまち
  - ・授業の一環として高齢者と接し合える場を設ける
- 助け合う
  - 【自分たちができること】 市にお願いをする
  - 【市ができること】 防災訓練を行う

＊ ＊③グループまとめ＊ ＊

私たちのグループでは交流というテーマに絞りました。その中でも4つのテーマについて意見が出て、「伝える」、「知る」、「接する」、「助け合う」に意見を分けました。「伝える」では、高齢者の方から昔遊びを教えてもらったり、私たちが高齢者の方にタブレットやスマホの使い方を教えたりするという意見が出ました。そして、市のイベントとして特産物をPRするイベントを開くという意見も出ました。「知る」では、障がいのある方を知ることを知るイベントを開催したり、知ることを自分たちで自主的に行うという意見が出ました。「接する」では、年齢関係なく話したり交流できる機会を作ったり、福祉について知る機会を作ったりするという意見が出ました。「助け合う」では、色々な世代の方と協力して、防災訓練を行うという意見が出ました。

市長

交流というテーマで4つのテーマに分けて意見をまとめていただきました。「伝える」については、高齢者から昔の話や昔遊び等を教えてもらうこと。そして逆に皆さんからはタブレットの使い方を教

え合う。そして「知る」については、障がい者のこと、自分たちでは知りえない、障がい者だから色々困っていたり抱えていたりすることを知るとのことだと思います。あとは「接する」という部分では年齢関係なく、世代を超えて、お互いに接する機会を作っていきますということ。福祉関係についても接する機会を作るということ。あとは「助け合う」ということで防災。まさに防災では何かあったときには、お互いに助け合わなければいけないということで、それぞれ自分たちができること、そして行政ができることを含めて貴重な意見をいただきました。ありがとうございました。我々もしっかりと今日いただいた意見を行政に反映していきたいと思います。

## 市長講評

今日は限られた時間でしたが、皆さんからそれぞれ富谷の未来、そしてそのために自分たちができること、そして行政に望むものということで、色々なご意見いただきまして本当にありがとうございました。先ほどお話ししましたが、今日それぞれに皆さんが事前に意見を学校でまとめていただいたことも含め、いただいたご意見はしっかり進めていこうと思っております。今日は一人ひとりから話を伺う時間よりも、今回初めてグループワークを優先したところですが、しっかりと皆さんの意見は受けとめさせていただいて、実現に向けてできることはすぐにやりますし、時間がかかっても、実現に向けて努力をしていきたいと思っておりますので、本当に貴重な意見をいただきありがとうございました。そして、皆さんのお手元に今日は資料として2枚、富谷が子どもにやさしいまちづくり宣言をしたこと、そして、冒頭でお話させていただきましたが、今日11月20日は世界子どもの日ということで、どうして今日が世界こどもの日なのか、そして子どもの権利というのはどういうことか。4つの生きる権利、育つ権利、守られる権利、そして参加する権利ということと、後は富谷市の子どもにやさしいまちづくり宣言の5つの柱や、取組の概要についての資料をお配りさせていただきましたので、帰ってから読んでいただければと思います。そして何よりも皆さん、同じ富谷市民で同じ富谷の他の小学校の仲間たちと、こういう時間を過ごしたというのは、貴重な機会になったかと思っております。同じ富谷で同じ世代を、これから生きていくお友達ですので、今日の出会いを大切にさせていただきたいと思っております。今日は本当に限られた時間でございましたが、それぞれ思い思いにご意見を出していただき、皆さんに心から感謝申し上げたいと思っております。皆さんでお互いに今日の成果に拍手で感謝を示したいと思っております。どうもありがとうございました。



